

平成17年度

海上保安庁関係
予算決定概要

平成16年12月24日

海上保安庁

平成 17 年度海上保安庁関係予算の基本的考え方

平成17年度予算においては、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004」(平成16年6月4日閣議決定)を踏まえ、国民生活の基礎である「安全」「安心」の確保を図るべく、重点的に推進すべきとされている分野(重点4分野)への重点化を図る。

特に、海上における治安対策の強化を図るとともに、大陸棚の限界画定のための調査を推進する。また、海上交通の安全性・効率性の向上を図る。

予算総括表

(単位:百万円)

| 事項 | 前年度 (A) | 17年度 (B) | 対前年度 倍率 (B / A) | 備考 |
|-----------------|------------|-------------|-----------------------|-------------------|
| 海上保安庁 | 169,108 | 168,762 | 1.00 | |
| 重要事項 | | | | |
| 海上における治安対策の強化 | 17,496 | 17,669 | 1.01 | うち巡視船整備 10,346 |
| 大陸棚の限界画定のための調査 | 5,368 | 6,687 | 1.25 | |
| 海上交通の安全性・効率性の向上 | 5,585 | 5,317 | 0.95 | |

「本表のほかに、改革推進公共投資事業償還金がある。」

重 要 事 項

1. 海上における治安対策の強化

尖閣諸島周辺海域における主権及び排他的経済水域等における我が国の海洋権益を保全するための監視警戒体制を強化する。また、テロ、不審船等に的確に対応するための監視能力、対処能力及び情報収集・分析能力を強化する。

(1) 拠点機能強化巡視船等の整備 6隻〔うち継続5隻〕 10,346百万円

工作船事件等を踏まえて、高速高機能巡視船の整備を引き続き推進する。

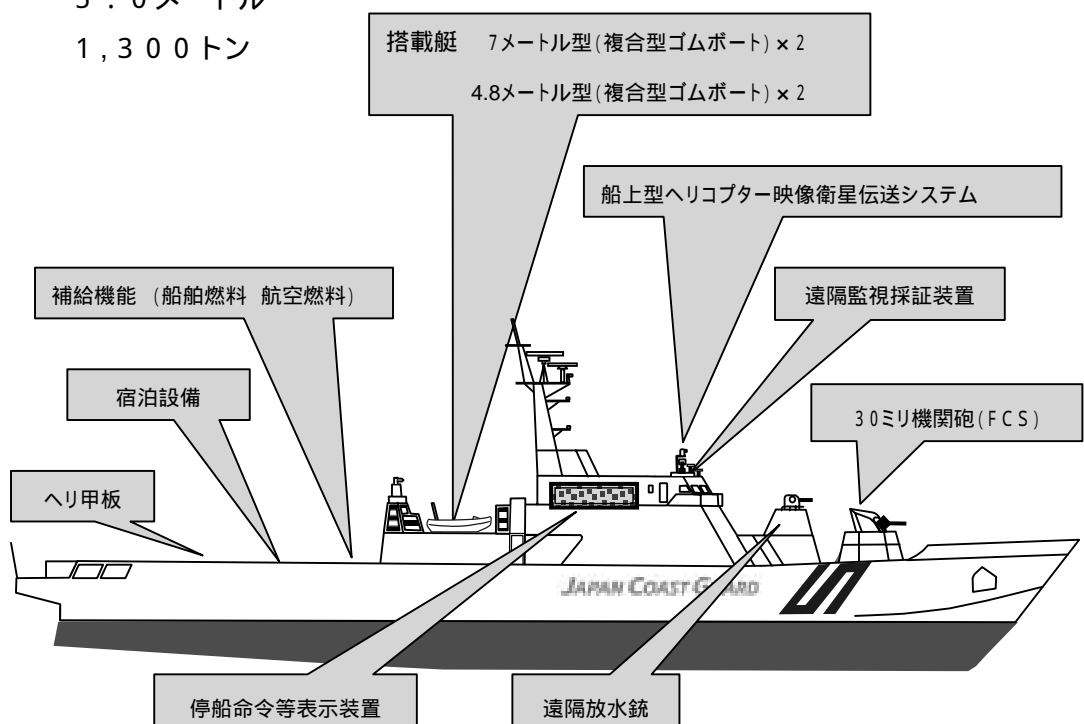
- ヘリ甲板付高速高機能巡視船〔2,000トン型〕 3隻(継続)
- 高速高機能巡視船〔1,000トン型〕 2隻(継続)

尖閣諸島周辺海域の警備体制を盤石とするため、複数の機動力のあるボートの搭載、巡視船艇への補給機能等の拠点機能を強化した巡視船を整備する。

- 拠点機能強化巡視船〔1,000トン型〕 1隻

〔拠点機能強化巡視船〕

- 全 長：約 89.0メートル
- 幅：約 11.0メートル
- 深 さ：約 5.0メートル
- 総トン数：約 1,300トン



(2) 航空機の整備

5機〔うち継続1機〕

4,110百万円

洋上捜索・監視能力に優れた新型ジェット機(ガルフ)を平成16年度に引き続き整備する。

新型ジェット機

1機(継続)

海上テロ、不審船等への対処能力に優れたテロ鎮圧部隊及びその資器材を迅速に現場へ輸送できる能力を有する中型ヘリコプター及び中型飛行機を整備する。

輸送能力に優れた中型ヘリコプター

2機

(主要目) 座席数 21人
搭載可能重量約 4,000 kg
最高速度(kt)約 150
巡航速度(kt)約 139



輸送能力に優れた中型飛行機

2機

(主要目) 座席数 27人
搭載可能重量約 3,700 kg
最高速度(kt)約 250
巡航速度(kt)約 200



(3) 装備等の充実・強化

3,212百万円

領海警備事案、海上テロ事案等に的確に対応するために必要な監視能力、対処能力及び情報収集・分析能力を強化するため、赤外線捜索監視装置の整備、船艇・航空機の防弾対策等を推進する。

(主な装備等)

< 監視能力の強化 >

赤外線捜索監視装置の整備

複合型ゴムボートの整備

高圧噴射放水銃の整備

遠隔監視採証装置の整備

秘匿通信機器(航空機デジタル伝送装置)の整備

< 対処能力の強化 >

防弾対策

武器の高機能化

< 情報収集・分析能力の強化 >

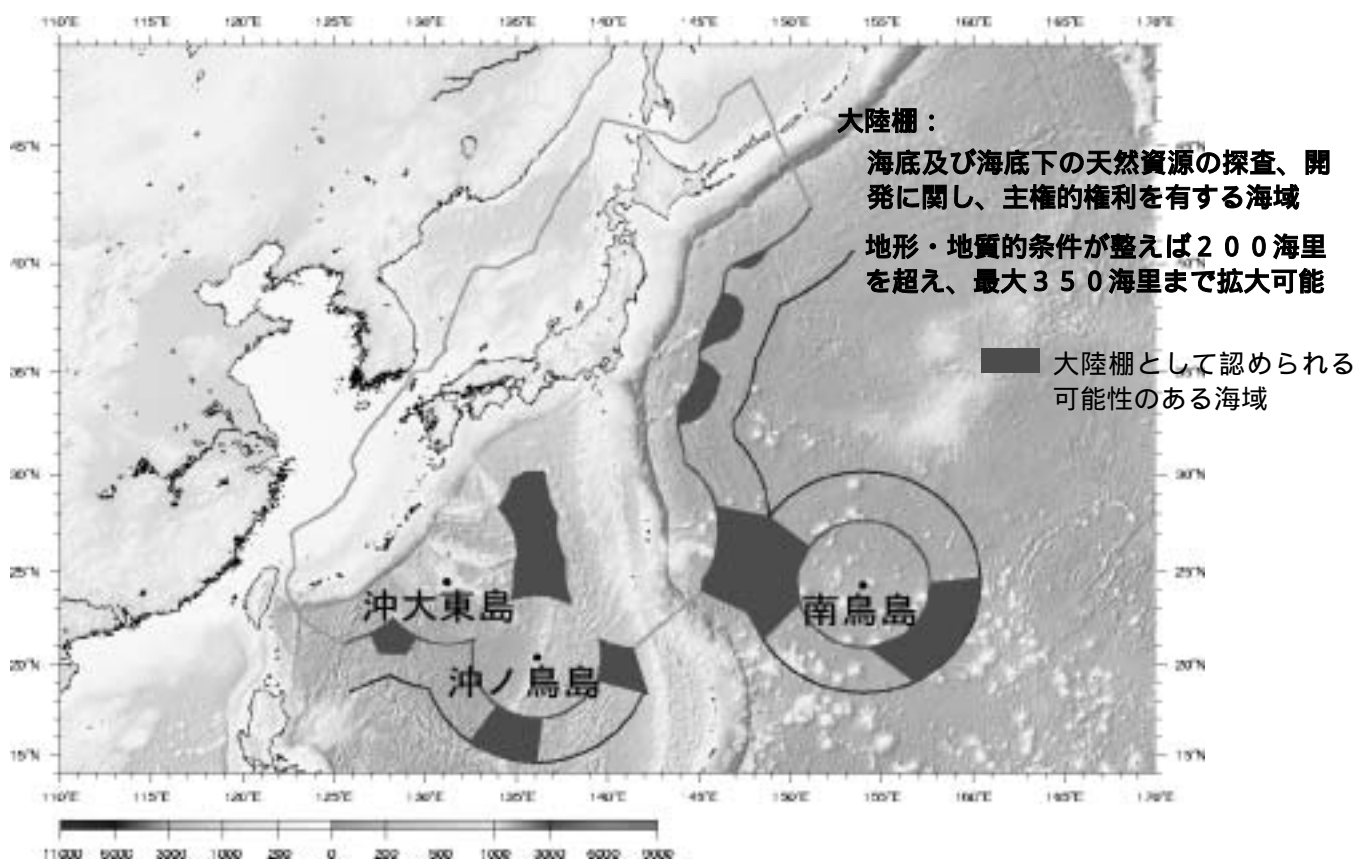
国際連携の強化、情報収集活動経費の充実

2. 大陸棚の限界画定のための調査

6,687百万円

我が国の大陸棚が、国連海洋法条約に基づき200海里を超えて認められるためには、平成21年5月までに大陸棚の地形・地質に関するデータ等大陸棚の限界に関する情報を国連「大陸棚の限界に関する委員会」に提出する必要がある。

このため、内閣官房の総合調整の下、関係省庁と連携を図り、我が国の大陸棚の画定に必要な周辺海域の地形・地質に関するデータを整備するために必要な調査を実施する。



3. 海上交通の安全性・効率性の向上

5,317百万円

海上交通の安全性・効率性を確保するため、以下の航路標識整備事業を重点的かつ計画的に推進する。

沿岸海域の安全に関する情報提供のIT化

ふくそう海域における航路標識の高機能・高規格化(より見やすく、識別しやすくするための同期点減化等)

航路標識電源のクリーンエネルギー化

伊勢湾等における、AIS(船舶自動識別装置)を活用した次世代型航行支援システムの整備

海上ハイウェイネットワークの構築

次世代型航行支援システムの整備、港湾手続きの電子化を踏まえ伊勢湾等における航行の安全と物流の効率化を推進するため、新しい海上交通体系の構築について必要な調査研究。

